

## 2022年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社  
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03(6229)0881  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月18日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期中間期	43,806	7.8	3,307	51.4	1,154	49.3
2021年3月期中間期	40,626	25.9	2,184	122.8	773	247.0

(注) 包括利益 2022年3月期中間期 1,495百万円 (△30.9%) 2021年3月期中間期 2,164百万円 (△36.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期中間期	46.52	—
2021年3月期中間期	31.16	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期中間期	190,723	45,291	23.7
2021年3月期	194,383	43,796	22.5

(参考) 自己資本 2022年3月期中間期 45,163百万円 2021年3月期 43,674百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	0.4	4,400	14.2	840	10.0	33.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） ー、 除外 ー社 （社名） ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料の13ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2022年3月期中間期	24,820,530株	2021年3月期	24,820,530株
2022年3月期中間期	112株	2021年3月期	91株
2022年3月期中間期	24,820,424株	2021年3月期中間期	24,820,463株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (2) 当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表を作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期（中間期）決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報) .....	14

※ 当社は、2022年3月期第2四半期（中間期）連結決算についての機関投資家・アナリスト向け説明会（Web会議）を2021年11月10日に開催する予定です。当説明会資料につきましては、当社ホームページに掲載いたします。

## 1. 当四半期（中間期）決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 当社グループの経営成績

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	対前年同期 増減率 (%)
経常収益	40,626	43,806	7.8
経常利益	2,184	3,307	51.4
親会社株主に帰属する中間純利益	773	1,154	49.3

経常収益は、生命保険事業における特別勘定(※)に係る収益が前年同期に比べ1,859百万円減少しましたが、すべての事業における保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期に比べ3,180百万円増加し、43,806百万円(前年同期比7.8%増加)となりました。この増収効果により、経常利益は前年同期に比べ1,122百万円増加し、3,307百万円(同51.4%増加)、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ381百万円増加し、1,154百万円(同49.3%増加)となりました。

(※) 変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

また、生命保険事業における特別勘定に係る収益を除いた経常収益は次のとおりであります。

<参考情報>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	対前年同期 増減率 (%)
特別勘定に係る収益を除いた 経常収益	37,692	42,733	13.4

なお、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられたご契約者様を対象に、保険料の払込猶予期間の延長や、災害死亡保険金等の支払事由の範囲拡大、保険金請求手続きにおける必要書類の一部省略などの特別措置を実施するなど、企業の社会的責任を全うするにあたって必要な各種の取り組みを継続的に行っております。

#### ② セグメントごとの経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	経常収益			セグメント利益(経常利益)		
	第2四半期連結累計期間		増減率 (%)	第2四半期連結累計期間		増減率 (%)
	2021年3月期	2022年3月期		2021年3月期	2022年3月期	
損害保険事業	15,714	16,909	7.6	561	1,131	101.6
生命保険事業	12,483	12,548	0.5	1,830	2,259	23.4
少額短期保険事業	12,557	14,471	15.2	104	226	115.8
報告セグメント計	40,754	43,929	7.8	2,496	3,617	44.9
セグメント間消去又は調整	△128	△122	—	△311	△310	—
中間連結損益計算書 計上額	40,626	43,806	7.8	2,184	3,307	51.4

(注) セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

主力商品である自動車保険において、テレビCM出稿やデジタル広告等の運用効率改善に取り組んだことで販売が好調に推移したほか、2019年11月より提供開始したAI搭載型OCRを用いた自動車保険のリアルタイム見積りサービス「カシャットとスピード見積り」を大幅リニューアルするなど、DX(デジタルトランスフォーメーション)による新しい顧客体験の創出を推進しました。また、SBIグループで推進する「地方創生」プロジェクトに沿った地域金融機関との協業に継続的に取り組んだほか、外部パートナー企業とのアライアンスに基づいた新しいサービスを開発するなど、新たな顧客基盤の開拓にも取り組みました。こうした取り組みの結果、2021年9月末の保有契約件数は1,163千件(前年度末比2.3%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年同期比7.6%増加の16,909百万円となりました。セグメント利益は、この増収効果により、前年同期比101.6%増加の1,131百万円となりました。

(生命保険事業)

団体信用生命保険(住宅ローン等のご利用者様向けの団体保険)において、住信SBIネット銀行株式会社や地域金融機関等の既提携先での販売が好調に推移したことに加え、提携先拡大を推進したことで新たに複数の金融機関にて取扱いが開始されました。また、個人保険のWEB申込ページや見積りページの改善を継続的に行い、インターネット申込専用定期保険や就業不能保険の一層の販売効率向上を図りました。そのほか、AI電話自動応答システムの活用により生命保険料控除証明書の再発行を完全自動化するなど、DXの推進によるお客様の更なる利便性の向上と業務効率化にも取り組みました。こうした取り組みの結果、2021年9月末の保有契約件数(団体信用生命保険の被保険者数を含む)は275千件(前年度末比11.2%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が順調に増加したものの、前述のとおり、特別勘定に係る収益が前年同期に比べ1,859百万円減少したことにより、前年同期比0.5%増加の12,548百万円となりました。なお、特別勘定に係る収益を除いた経常収益は、前年同期に比べ1,924百万円増加(前年同期比20.2%増加)しております。セグメント利益は、団体信用生命保険における保険料の増収が寄与し、前年同期比23.4%増加の2,259百万円となりました。

(少額短期保険事業)

SBI日本少額短期保険株式会社では、代理店が利用するオンライン入居申込サービスを自社の契約管理システムとAPI接続することで代理店業務の軽減や利便性を向上させたほか、SBIプリズム少額短期保険株式会社では、インターネット上で保険金請求手続きを完結できる仕組みを構築し、お客様の利便性を向上させるなどDXの推進に取り組みました。また、SBIリスタ少額短期保険株式会社では、ペットシェルジュ株式会社が提供するペット飼育者向けアプリ「PetHeart」の有料会員様向けサービスとして「ペット賠償責任保険」を提供開始するなど、外部パートナー企業とのアライアンスに基づいた新しいサービスの開発にも取り組みました。こうした取り組みの結果、2021年9月末の保有契約件数は963千件(前年度末比2.3%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年同期比15.2%増加の14,471百万円となりました。セグメント利益は、この増収効果により、前年同期比115.8%増加の226百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、190,723百万円（前年度末比3,659百万円減少）となりました。主な勘定残高は、有価証券127,894百万円（同2,759百万円減少）、現金及び預貯金32,716百万円（同92百万円減少）であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、145,432百万円（同5,154百万円減少）となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金132,371百万円（同1,783百万円増加）であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、45,291百万円（同1,495百万円増加）となりました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加334百万円及び親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が1,154百万円増加したことあります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ993百万円増加し、35,346百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、保険金、年金、解約返戻金等の保険契約上の支払金や事業費等に係る支出を上回る保険料の収入により、3,437百万円の収入超過（前年同期は5,109百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に、有価証券や買入金銭債権の取得による支出が有価証券の売却及び償還による収入を上回ったことにより、2,453百万円の支出超過（前年同期は3,378百万円の収入超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出により0百万円の支出超過（前年同期は0百万円の支出超過）となりました。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当中間連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	32,809	32,716
買入金銭債権	3,297	5,298
金銭の信託	136	126
有価証券	130,654	127,894
貸付金	153	155
有形固定資産	542	534
建物	272	269
リース資産	26	18
その他の有形固定資産	244	246
無形固定資産	8,359	8,310
ソフトウェア	4,295	4,228
のれん	3,224	3,283
その他の無形固定資産	839	798
代理店貸	140	86
再保険貸	4,710	4,660
その他資産	11,815	10,090
繰延税金資産	165	151
支払承諾見返	1,600	700
貸倒引当金	△2	△0
資産の部合計	194,383	190,723
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	130,587	132,371
支払備金	17,213	18,483
責任準備金	111,368	111,981
契約者配当準備金	2,005	1,906
代理店借	401	200
再保険借	4,561	4,633
その他負債	11,804	5,905
退職給付に係る負債	33	33
価格変動準備金	730	786
繰延税金負債	868	802
支払承諾	1,600	700
負債の部合計	150,586	145,432
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,061	32,061
利益剰余金	2,666	3,821
自己株式	△0	△0
株主資本合計	43,102	44,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	572	906
その他の包括利益累計額合計	572	906
新株予約権	21	21
非支配株主持分	99	106
純資産の部合計	43,796	45,291
負債及び純資産の部合計	194,383	190,723

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
経常収益	40,626	43,806
損害保険事業	15,646	16,842
保険引受収益	15,449	16,461
正味収入保険料	15,441	16,454
積立保険料等運用益	7	7
資産運用収益	160	367
利息及び配当金収入	78	125
金銭の信託運用益	4	—
売買目的有価証券運用益	66	222
有価証券償還益	7	—
その他運用収益	10	26
積立保険料等運用益振替	△7	△7
その他経常収益	36	13
生命保険事業	12,469	12,539
保険料等収入	7,198	9,006
保険料	5,675	7,025
再保険収入	1,523	1,980
資産運用収益	4,956	3,297
利息及び配当金等収入	1,138	1,197
有価証券売却益	881	948
有価証券償還益	0	35
為替差益	—	7
貸倒引当金戻入額	2	1
その他運用収益	0	32
特別勘定資産運用益	2,933	1,073
その他経常収益	314	236
少額短期保険事業	12,510	14,424
保険料等収入	12,244	14,101
資産運用収益	0	0
その他経常収益	265	323
経常費用	38,441	40,499
損害保険事業	15,094	15,730
保険引受費用	11,101	11,361
正味支払保険金	8,469	8,974
損害調査費	1,852	2,161
諸手数料及び集金費	△1,291	△1,584
支払備金繰入額	781	1,410
責任準備金繰入額	1,288	400
その他保険引受費用	0	0
資産運用費用	21	94
金銭の信託運用損	—	10
有価証券売却損	—	79
その他運用費用	21	4
営業費及び一般管理費	3,964	4,259
その他経常費用	7	15

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
生命保険事業	10,643	10,278
保険金等支払金	6,191	7,297
保険金	1,166	1,669
年金	428	451
給付金	495	556
解約返戻金	1,638	1,672
その他返戻金	682	659
再保険料	1,779	2,287
責任準備金等繰入額	2,398	253
責任準備金繰入額	2,398	253
資産運用費用	51	391
支払利息	1	0
有価証券売却損	3	—
有価証券評価損	—	291
金融派生商品費用	0	7
為替差損	9	—
その他運用費用	36	92
事業費	1,884	2,161
その他経常費用	117	175
少額短期保険事業	12,397	14,180
保険金等支払金	7,696	8,858
責任準備金等繰入額	129	179
事業費	4,549	5,126
その他経常費用	22	15
その他	306	310
経常利益	2,184	3,307
特別損失	51	143
固定資産等処分損	0	87
価格変動準備金繰入額	50	55
契約者配当準備金繰入額	988	1,419
税金等調整前中間純利益	1,144	1,743
法人税及び住民税等	327	684
法人税等調整額	41	△100
法人税等合計	369	584
中間純利益	775	1,159
非支配株主に帰属する中間純利益	1	4
親会社株主に帰属する中間純利益	773	1,154

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
中間純利益	775	1,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,388	335
その他の包括利益合計	1,388	335
中間包括利益	2,164	1,495
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,155	1,488
非支配株主に係る中間包括利益	8	6

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,375	32,061	1,902	△0	42,338
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益			773		773
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	773	△0	773
当中間期末残高	8,375	32,061	2,676	△0	43,112

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△862	△862	21	93	41,591
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益					773
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	1,382	1,382	—	8	1,390
当中間期変動額合計	1,382	1,382	—	8	2,164
当中間期末残高	520	520	21	101	43,755

当中間連結会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,375	32,061	2,666	△0	43,102
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益			1,154		1,154
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	1,154	△0	1,154
当中間期末残高	8,375	32,061	3,821	△0	44,257

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	572	572	21	99	43,796
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益					1,154
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	334	334	—	6	340
当中間期変動額合計	334	334	—	6	1,495
当中間期末残高	906	906	21	106	45,291

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,144	1,743
減価償却費	677	774
のれん償却額	92	101
支払備金の増減額(△は減少)	491	1,269
責任準備金の増減額(△は減少)	3,721	612
契約者配当準備金繰入額(△は戻入額)	988	1,419
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	△0
価格変動準備金の増減額(△は減少)	50	55
利息及び配当金等収入	△1,217	△1,323
金銭の信託関係損益(△は益)	△4	10
有価証券関係損益(△は益)	△952	△836
金融派生商品損益(△は益)	0	7
支払利息	1	0
為替差損益(△は益)	23	△15
有形固定資産関係損益(△は益)	0	0
特別勘定資産運用損益(△は益)	△2,933	△1,073
代理店貸の増減額(△は増加)	61	53
再保険貸の増減額(△は増加)	265	50
その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は増加)	3,050	1,894
代理店借の増減額(△は減少)	△124	△201
再保険借の増減額(△は減少)	527	72
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は減少)	△781	△878
その他	8	121
小計	5,087	3,858
利息及び配当金の受取額	1,297	1,768
利息の支払額	△1	△0
契約者配当金の支払額	△1,315	△1,518
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	40	△669
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,109	3,437

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預貯金の純増減額(△は増加)	△0	△9
買入金銭債権の取得による支出	—	△1,000
買入金銭債権の売却・償還による収入	200	—
金銭の信託の増加による支出	△134	—
金銭の信託の減少による収入	2,425	—
有価証券の取得による支出	△5,455	△13,351
有価証券の売却・償還による収入	7,045	13,197
貸付けによる支出	△5	△11
貸付金の回収による収入	98	11
<b>資産運用活動計</b>	<b>4,174</b>	<b>△1,164</b>
営業活動及び資産運用活動計	9,283	2,273
有形固定資産の取得による支出	△62	△54
無形固定資産の取得による支出	△758	△1,074
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	25	—
子会社株式の取得による支出	—	△160
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,378</b>	<b>△2,453</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△0
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△13</b>	<b>10</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,474	993
現金及び現金同等物の期首残高	27,038	34,352
現金及び現金同等物の中間期末残高	35,512	35,346

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、SBI損害保険株式会社、SBI生命保険株式会社、及び少額短期保険会社5社の持株会社であるSBI少額短期保険ホールディングス株式会社を直接の子会社とする保険持株会社であり、これらの会社の経営管理等を行っております。傘下の子会社は、保険業法等の業種特有の規制環境の下にあり、各子会社においてそれぞれの経営戦略等を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は傘下の子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「損害保険事業」、「生命保険事業」、及び「少額短期保険事業」の3つを報告セグメントとしております。

- (1) 「損害保険事業」は損害保険業を行っており、SBI損害保険株式会社1社で構成されております。
- (2) 「生命保険事業」は生命保険業を行っており、SBI生命保険株式会社1社で構成されております。
- (3) 「少額短期保険事業」は少額短期保険業を行っており、SBI少額短期保険ホールディングス株式会社、SBIいきいき少額短期保険株式会社、SBI日本少額短期保険株式会社、SBIリスタ少額短期保険株式会社、SBIプリズム少額短期保険株式会社及び常口セーフティ少額短期保険株式会社の6社で構成されております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、中間連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部経常収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	15,646	12,469	12,510	40,626	—	40,626
セグメント間の内部経常収益又は振替高	67	13	46	128	△128	—
計	15,714	12,483	12,557	40,754	△128	40,626
セグメント利益(注) 3	561	1,830	104	2,496	△311	2,184
セグメント資産	49,893	122,557	12,585	185,036	△1,917	183,119
その他の項目						
減価償却費	498	89	85	672	5	677
のれんの償却額	—	—	92	92	—	92
利息及び配当金等収入	112	1,146	0	1,259	△41	1,217
支払利息	7	1	34	43	△41	1
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	471	155	114	742	1	743

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△311百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。
- (2) セグメント資産の調整額△1,917百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△4,408百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産2,491百万円であります。
- (3) その他の項目のうち、「減価償却費」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」は当社で計上したものであり、それらを除く項目はセグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	16,842	12,539	14,424	43,806	—	43,806
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	67	9	46	122	△122	—
計	16,909	12,548	14,471	43,929	△122	43,806
セグメント利益(注) 3	1,131	2,259	226	3,617	△310	3,307
セグメント資産	54,794	124,153	13,804	192,752	△2,029	190,723
その他の項目						
減価償却費	530	150	88	769	4	774
のれんの償却額	—	—	101	101	—	101
利息及び配当金等収入	159	1,201	0	1,361	△37	1,323
支払利息	1	0	36	38	△37	0
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	370	323	208	902	3	906

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△310百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。
- (2) セグメント資産の調整額△2,029百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△4,211百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産2,182百万円であります。
- (3) その他の項目のうち、「減価償却費」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」は当社で計上したものであり、それらを除く項目はセグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。